

平成 29 年度 KCN京都 放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

平成 29 年 5 月 19 日（金） 11:00～12:45

2. 開催場所

京都府相楽郡精華町光台 1-7 けいはんなプラザ 5F 小会議室『ポトマック』

3. 出席者

会長 : 渡辺好章

副会長 : 大崎康弘

委員 : 高木健次、池井戸睦男、出栗美紀子、渡辺紀子、中川憲一（順不同・敬称略）

KCN 京都 : 今里英之（代表取締役社長）、岡田裕樹（取締役総務部長）、淀和憲（営業部長）、
中島修（技術部係長）

4. 報告

■ 協議事項

① 自主放送番組について

KCN 京都自主制作番組 My けいはんな「武内神社 700 年の歴史」（2017 年 3 月後半放送）の
1 作品について意見を伺った。

作品：「武内神社 700 年の歴史」

- ・宮司さんが何代目なのか、この神社が精華町のどこにあるのか地図等を入れて説明がほしい。
- ・地元でも知らない、他にも深い歴史のあるものがあり、それらを地域の人々に伝える役割が KCN 京都にはあると感じる。
- ・「きたいなやづま」という字はどのように書くのか等、気になる箇所がいくつか見られたが、「お宮さん」の紙面発行を毎月 1 度 40 年以上も続けられていることに感銘を受けた。又、地域の方々が集まった中で宮司さん、息子、孫の 3 世代が祭りをされている姿を見て、各世代の役割についてそれぞれが支え合い、また思いが伝わってくる良い番組である。
- ・3 世代が神社を支えており、また地域の人達も共に支えていることが伝わり、ほっとする番組に仕上がっている。
- ・近くにこのような良い神社があることによかったと思えた番組であった。
- ・NHK であれば大きく歴史等に焦点を当てて番組を作られるかもしれないが、ケーブルテレビとして身近なところで、小さなコミュニティが支えあって出来てきた文化を、映像によって次の世代へ伝えており、放送会社の公益性を全うされている。

- ・昔からの信仰として伝えることも大切であるが、新しい現代の催しも取り入れるなどし、神社がその地域との関わりについて、興味を引くものであった。

■ 報告事項

① 平成 29 年度自主制作番組企画について

平成 29 年度の K C N 京都ファミリーチャンネルの番組企画について説明を行なった。

② 放送番組審議会規程の更新について

審議会規程の変更（更新）について説明を行なった。

以上